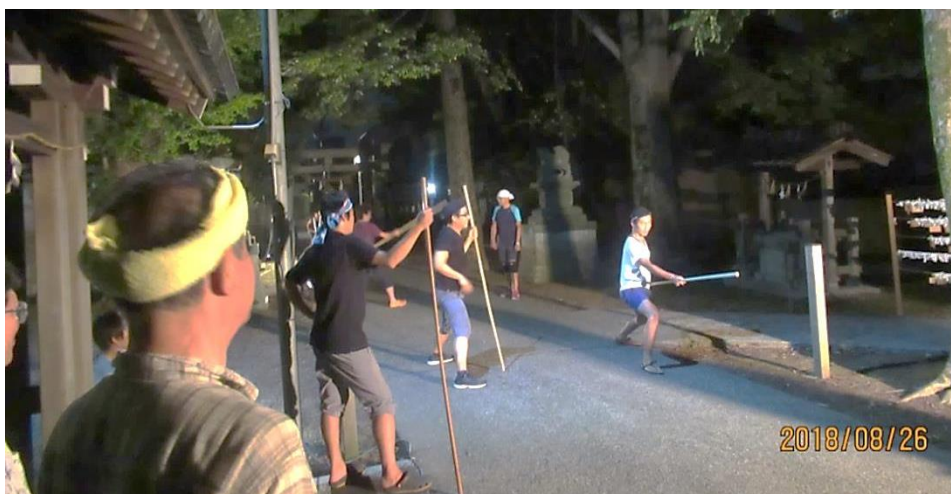


「いずみ界限」通信 No.29

旧北国街道いずみ界限を考える会

迫る町練り 演武練習に熱気

泉獅子舞 伝統継承へ協賛金のお願い



泉獅子舞町練りが9月22日(土)に迫る中、國造神社境内では棒術や薙刀の練習が熱気を帯びてきました。町練り実行委員会は毎週月、水、金、日曜日の午後7時から國造神社境内などで小学生を含む総勢30人超の

参加者が棒術や薙刀の習得に励んでいます。弥生校下の関係3町会はもとより、三馬校下の4町会からも新たな参加者が加わり、夜間の練習も一気に熱を帯びてきました。獅子頭に構える演武者の凛々しい姿は品格があり、練習でも一見の価値があります。泉獅子舞の棒術は大正、昭和天皇の皇太子時代にご台覧の栄を賜った最高級の文化遺産であり、「地域の誇り」として代々伝えられてきたものです。32年ぶりの復活を目指す泉獅子舞町練りの継承には多額の費用も掛かります。実行委員会では費用の一部を賄う協賛金の協力を呼びかけていますが、氏子の皆さんの温かい支援を期待しています。

野点の会 10月6日に開催 旧北国街道

いずみ界限を考える会の30年度総会は8月30日、泉文化会館で開かれ、今年度も10月6日(土)に野々造園樹林地と泉屋宅裏庭で野点の会と樹林地親子見学会を開催するほか、小学校と協力しホテルの幼虫飼育やカワニナの採取放流、市へホテル緑地の具現化を要望するなどの活動計画を決めた。

